

タウンミーティング ふじみ野市の健康診断

日 時 平成 29 年 7 月 8 日 (土) 午前 10 時～11 時 30 分
場 所 ゆめぼると
天 気 晴れ
参加者 86 人



主な意見等

参加者 旧給食センター撤去後の土地を防災・防犯などに役立つ施設として有効活用してほしいと思います。

市 長 旧給食センターの活用については予めより検討してきました。
これまで、公共施設の適正配置やスポーツ施設の整備・耐震化に力を入れてきたが、現在は文化施設の整備を計画する段階にきています。ご指摘の防災・防犯面のことも頭に入れながら次のステップに進んでいくため、有効活用していきたいと思っています。
貴重なご意見ありがとうございました。

参加者 県内でふじみ野市は空き家率が高いようです。
こうしたことの対策として私が考えたのが、外国人に特化したシェアハウスとして有効活用できないかというものです。
国の方針としても外国人へのビザ規制緩和をしていくようで、特に埼玉県には外国人の流入が増えているようです。
ネットがさかんな時代ですので、海外からもふじみ野市が注目されるきっかけになれば良いと思います。
また、前半の市政説明にもあった共助の重要性ですが、フードトラック巡回などで調理器具がない方や、買い物へ行くのが困難なお

年寄りにも対応できるのではないかと思います。

市長 斬新な発想でありがたいものでした。外国人とコミュニケーションをとることができ、それが空き家対策にも繋がっていく、相乗効果をうむ素晴らしい提案だと思います。

市では国際交流センターの協力で外国人や帰国子女など日本語が話せない人に対して支援をしています。今後、移り住む外国人が増えるにつれてご提案のあったような方策も選択肢の一つになってくるのではないかと思います。

また、フードトラックのご提案も面白く、あたたかみのある提案だと思います。

行政という立場で何ができるのか考えながら検討していきたいと思っています。

参加者 三芳インターがフル化されるにともない、西原住宅のバス停付近が危険に思えるので安全対策をお願いしたいと思っています。

市長 おっしゃるとおり道路幅員がない場所で、道路の縁で待たなくてはならない危険なエリアです。

以前はそばの駐車場にご協力を得て駐車場で待てるようにしてもらっていましたが、バス待ちの人によるごみのポイ捨てなどマナーの問題でうまくいかなくなってきました。

フルインター化に向けて交通量増加も予想されるので安全面を考慮し、担当とも対策を練っていききたいと思います。

参加者 「鶴ヶ丘」小学校と「鶴ヶ岡」地区。漢字が違ってわかりづらいので統一できないのでしょうか。

市長 長年使ってきたがゆえに変更が難しいというのが現状であります。特に学校名については卒業生や在学生への配慮も必要になります。

ただ、合併前の上福岡では当時、第2小学校と第4小学校の統合を経緯に小・中学校名称を一挙に変更したことがありました。

数十年単位の長い目で見れば、学校の統合やそれにとまなう学区の見直し等もやっついていかななくてはならないかも知れませんが、教育

委員会と一緒に将来を見据えながら検討していきたいと考えています。

参加者 水道料金は1～20まで1立方単位で刻んでいるが下水道料金は0～20立方の料金が同じと刻みが少なく、使用量と使用料が見合わず、受益者負担という観点からこれはいかがなものかと思えます。下水道の仕様上簡単にはいかない面もあるのかも知れませんが、何とかならないのでしょうか。

市長 井戸があるところは下水道料金を払っていただいているなど、現在の基準は公平性を重んじているように思います。

水道の運営については水の原価より料金が安く、ふじみ野市は赤字で水を提供しているかたちです。運営には留保資金を取り崩しており、毎年取り崩し約3億の中で2億は老朽化に対する入れ替えで、残り1億が赤字補填をしている状況です。

これをクリアするためにも少しずつ料金面を変更していかなくてはならないと思えますし、ご指摘のとおり料金設定についても検討していく必要も出てくるかと思えます。

参加者 丸山地区から駒西小学校まで通っている子どもがいますが、昨今の世情から通学路の治安が気になります。学区の見直しの予定はありますか。

市長 お話の合った丸山エリアと南台2丁目・東久保・鶴ヶ舞あたりは非常に入り組んでおり、近くに小学校があるにも関わらず、わざわざ遠い小学校にいかなくてはならないという現状があります。

合併直後は暫定の処置をしてきましたが、現在、ようやく見直しをする方に向かい始めています。

ただ、学区の見直しについては変更すると各家庭からさまざまな声が出てきます。

変えたとしても、今まで通りを希望する場合は希望をとおすなど、在学生等やその兄弟に影響が及ばない範囲での見直しにしていきたいと考えています。

参加者 亀居町会では私道が多く、街灯の設置・維持が課題になっています。

市に寄附採納して解消したいが地権者が近隣にいなかったり高齢だったりと困難が予想されています。

こうした課題について市の支援もお願いしたいと思っています。

市長 4mに満たないため寄付採納すらできないところもあります。

私自身も市議会議員の頃にそうしたケースに関わった事があり、大変さは身に染みしています。

私道は一人一人の財産でありますので、なかなか理解を得るのが難しい場合もあります。

行政からは寄付をあっせんするのは難しいですが、どうしたらスムーズにいくのか考えていきたいとは思っています。

街路灯についても、治安や子供たちの安全面を考慮しながら今後の検討課題にしていきたいと思っています。

参加者 路上喫煙について、通勤中にも気になることが多くなってきました。

千代田区のように罰金をとるなど地域と警察の連携をとったり、啓蒙活動をしたり対策して行ってほしいと思っています。

市長 市では駅周辺が路上喫煙禁止エリアです。

よく議論となるのが喫煙可能場所を設置するか否かです。禁止エリア内に喫煙可能な場所を設置するのはおかしいという意見がある中で、喫煙可能場所を遠くに作るとそこまで我慢できずに歩きたばこ等が増え、かえって効果が薄いという傾向もあるようです。

全域にわたっては難しい上、タバコ屋さんの敷地等は行政から規制できないものです。

マナーやモラルの啓発をしていくことが現段階での行政としてのやり方ではないかと考えています。

参加者 ふじみ野市は富士山がよく見えるという利点を生かしてビュースポットとして観光案内等を出してみたいはいかがでしょうか。

市長 お話のとおり、ふじみ野市周辺は富士山がよく見えるエリアです。

ふじみ野市といえば、という特産品などを模索している中で、富士山がよく見えるという魅力を推していくのもまた一つの手ではないかとも思います。

議会でもビュースポットの景観向上のため電線の地中化をしてはどうかという意見が出たことがあります。

これも費用がかかる問題ではありますが、アピールポイントとしていってもいいのかと思います。

参加者 市の魅力発信の話が出ましたが、おおい祭りと七夕まつりをより充実させていただきたいと思います。特におおい祭りについては未だコミュニティ祭りの域を脱していないように感じます。産業振興という面でも外から人が呼べるような、市を挙げた祭りにしてほしいと思います。

市長 私も毎年参加している中で、おおい祭りについても駅から降りてくる外からの参加者が年々増えてきているようには感じます。

お話にありましたように、市の魅力発信の中で、新しいものばかりではなく、地域になじんだものを大切にしていくというのは貴重なご意見だと思います。

また、祭りに関しては七夕とおおいの二大祭りを一緒にできないかという声もあります。

これは祭りのことに限った話ではありませんが、私が常々思うのは、主役であるのは市民の皆さんであり、行政は促し啓発する側であるということです。

市民の皆さんから「こうしたい」という声が挙がり、そこに行政が協力していくかたちが望ましいのではないかと考えています。